

第七師團第一一號

本師團事務第五

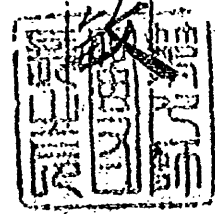
明治三十七年一月廿二日

白印

明治三十六年三月六日北丁第一六號ヲ以テ
進達致置矣第七師團海岸監視哨
服務規則中第一第二第三第四葉ヲ別紙
ニ通リ改正矣此段及報告候也

明治三十七年一月廿二日

第七師團長 男爵 大迫尚敏



參謀總長 侯爵 大山巖殿

第五師團



0162

第七師團海岸監視哨服務規則

第一條 本規則ハ海岸監視哨勤務令ニ示セル事項

細部ヲ規定スルモノトス

第二條 管内海岸監視哨ノ位置左ノ如シ

名称	信地(五万分圖ニ據ル)	最寄電信局ト、交通法
留蘭	市街西方凸角	留蘭電信局、徒歩
小樽湾	高島岬燈臺	小樽電信局迄電話 約七千五百米突
江差	州根子岬	江差電信局迄電話 約一万三千米突
壽都湾	辨慶岬燈臺	壽都電信局迄電話 約七千四百米突
森湾	砂原村字ノコノ南方山脚 土南部陣屋ノ下地圓見ノ入	砂原電信局迄電話 約一千五百米突
室蘭湾	室蘭西方標高二〇一丁山上	室蘭電信局迄電話 約一千七百米突

苫小牧 苫小牧南方沙丘

苫小牧電信局(徒歩)

襟裳岬 襟裳岬燈臺

幌泉電信局迄電話
約一万四千未突

厚岸 厚岸 床潭村(ロリカオタ角)

厚岸電信局迄電話
約六千五百未突

根室港 (1)パニケウスイ岬及
(2)花咲燈臺

(1)根室電信局間徒歩
(2)花咲村電話所迄電話約二千未突

稚内 ポロトマリ燈

稚内電信局迄電話
約五千未突

備考、監視哨、最寄電信局トノ交通ハ主トルラ電話ヲ用ヒタリ

ト雖モ監視哨長ハ機械完全通聲確實一点ノ誤リナキヲ証シタル

後ニアラサレハ決シテ之ヲ専用スハカラス二千未突以下ノ短巨離ハ勿

論重要ナル事件ハ遠大ノ巨離トモ正道路天候妨ケキ限リ電

信員トノ交通ハ筆記通信ノ確實ナルヲ忘ルハカラス

第三條 海岸監視哨勤務令第廿九第一項俱書ニ依

リ監視哨相互ニ通報スヘキ箇所ヲ左ノ如ク規定ス

一各監視哨ハ此隣監視哨ノ

二稚内、留萌、小樽及根室ノ監視哨ハ宗谷岬、海軍望樓、
三稚内、小樽、壽都、江差、森、室蘭、及襟裳岬ノ監視哨

ハ函館要塞司令部ノ

第四條 参謀部ハ工兵ヲ以テ電話線ノ架設工事ヲ計画

スヘシ時宜ニ依リ本道派出通信官吏ト交渉シ此工事ヲ
委任スルヲ得

第五條 兵器支廠長ハ動員第三日迄ニ平時保管シタル

諸材料ヲ各海岸監視哨ノ動員擔任官ニ送附スルノ
準備ヲ為シ在ルハシ

但歩兵第二十五聯隊長ノ動員擔任ニ屬スル監視哨
用材料ヲ除ク

第六條 各海岸監視哨ノ材料ハ當分附表其一乃至其
九ニ據ル

但兵器支廠長ハ各監視哨為ニ必クモ二組ツクノ信號手
旗ヲ規定外ニ豫備トシテ準備シ置クハシ

本規定ニ基キ各動員擔任官ハ其擔任ニ屬スル哨所
用材料ヲ各哨所ニ運搬スルノ計画ヲ為シ置クニ但輸送

ノ実施ハ臨機命令ス

第七條 監視哨長(歩兵第二十五聯隊長ノ動員擔任ノモノヲ除ク)ハ出發ニ當リ參謀

部ニ就テ行軍ニ關スル給養ニ關スル指示ヲ受クハシ

但歩兵第二十五聯隊長動員擔任海岸監視哨

ノ為ニハ參謀長豫ノ所要ノ件ヲ筆記シテ歩兵第二

十五聯隊長ニ送付シ置キ聯隊長ヨリ之ヲ指示スモトス

第八條 監視哨員信地於ケル給養ハ自炊ト受員賄トシ間

ハス一定ノ金額ヲ以テ之ヲ支給ス哨長ハ出發ニ當リ師

團經理部(札幌ニ在テハ歩兵第二十五聯隊本部)ニ就

キ其他ノ費用ト共ニ受領スヘシ之カ為ニ經理部長ハ豫

ノカ計畫ヲ為シ置クモトス

但經理部長ハ計畫ニタル給養ノ方法ヲ參謀部通

報レ置クヘシ

第九條 監視哨長ハ出發ニ當リ師團副官(又ハ歩兵第二

十五聯隊本部)ヨリ海岸監視哨勤務令第三十三
示セル諸品ノ内其一其二其四及其五(井旗除キタ
他諸物品ヲ其他衛戍病院長ヨリ救急藥ヲ受
領携行スヘシ

第十條 監視哨長ハ電話未ダ成_{ラザル}時期ニ於テ最
近電信局トノ交通ノ爲ニ傭役脚夫ヲ保用シ概_テ不
歩哨ノ要領ニ從フヘシ

第十一條 監視哨長ハ一部ノ分任出納官吏_{ナルカ}故ニ哨所
ニ關スル一切ノ經理整頓ニ其責ニ任スヘシ

第十二條 哨兵ノ交代ハ每一時ニ於テスルヲ良トス

第十三條 師團副官ハ海岸監視哨勤務令第三十三ニ

示セル哨所備附品内其一其二其四及其五片假名信号長隊

ニ掲クル物品ヲ除キ豫メ準備保管スヘシ(札幌ニ在リ)

步兵第五聯隊長)

第十四條 哨所近傍ニ於テ適宜ノ家屋ヲ徵用スル能ハサルハ

急造廠舎ヲ建築スルモノトス其要領概テ左ノ如シ

急造廠舎ハ柱堀建ニシテ屋根板葺桁板或ハ四分板ニ枚重キ周圍ハ

片面羽目板張リトス又其坪敷ハ一名ニ對シ坪ニ合五勺トス

圓廁ハ柱堀建屋根石同断周圍延張り床板張リトス

哨舎ハ單哨若クハ複哨ノ為メ所又ハニヶ所トシ其構

造ハ急造廠舎ニ準ス

監視哨舎内ニハ長脚ノ遊動托架一個ヲ備フルヲ要ス

季節ニ依リ防寒準備特ニ周到ナルヲ要ス

第十五條 急造廠舎ハ哨長現地ニ到着後海面上ヨリ通

視ヲ避ケル位置ニ撰定シ所在地支廳長若クハ町村長

ニ命シテ構築ヲ実施セシムルモノトス

第十六條 經理部長ハ豫メ前條ノ急造廠舎構築ニ要スル

計画ヲ為シ置キ監視哨配置ノ命令アルハ其材料ノ集収

及構築方ヲ地方官ニ委託スル

但急造廠舎竣成迄監視哨長ハ其居住ニ就テ適宜ノ

処置ヲ採ルハシ

第十七條 軍醫部長ハ各海岸監視哨ニ救急藥ヲ配典

スルノ準備ヲ為シ監視哨動員擔任官所在地ノ衛戍

病院長ヲシテ保管セルムヘシ

第十八條 監視哨長ニ海岸監視哨撤去後二十日以内ニ

左ノ報告ヲ呈出スヘシ

一 監視上実験ニ關スル事項

二 通信ニ關スル事項

三 哨所ノ位置及設備適否ニ關スル事項

四 哨員ノ編制給養ニ關スル事項

五 其他将来改正ヲ要スヘキ事項

第十九條 本規則ハ一時分遣ノ海岸監視哨ノ為メモ亦

之ヲ準用ス

0171

